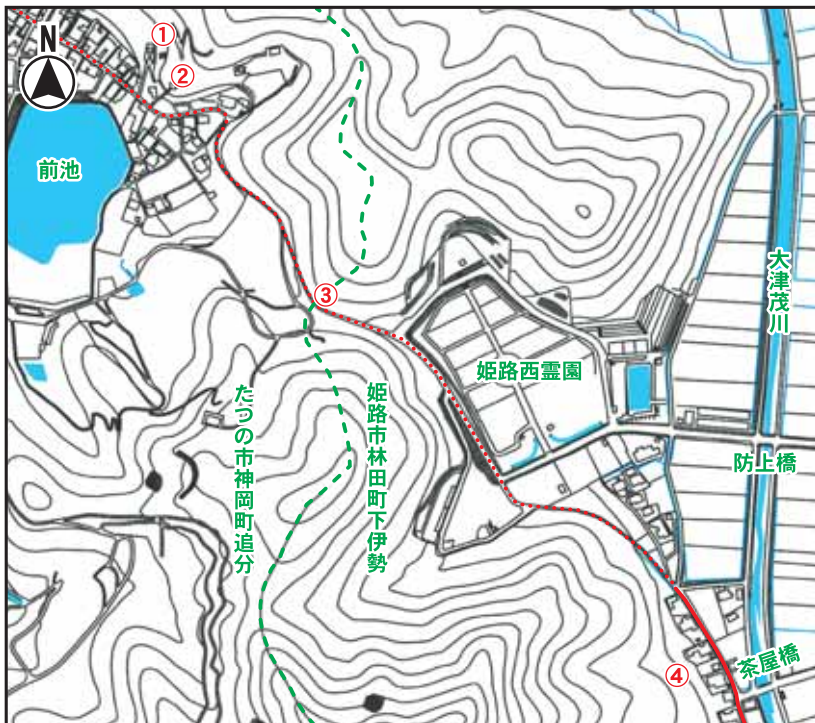




『美作道』をたずねて

<図1>



①薬師堂 ②荒神社・稲荷神社 ③追分坂・文政3年(1820)廻国供養塔、現姫路市・たつの市境 ④伊勢茶屋(立場(たてば、街道筋の休憩場所))

野から夢前川東岸を北上する道は菅生川合流付近で夢前川を北に渡り、飾西宿へは大白書中学校付近または大歳神社西から菅生川を渡っていたようだ。

美作道の名称は古代律令国家が和銅6年(713)備前国から北部6郡を割いて美作国を設置し、備前国府からでなく播磨国府から美作の国府に至る山陽道駅路の支路として整備されたことに由来するが官道の整備以前から山陰と山陽・畿内を結ぶ道が開かれていたことはいままでのない。

なお古代官道の美作道は播磨国府の西、山陽道駅路の草上駅家(今宿丁田遺跡と推定)で分岐し北上、振袖山の北側を西進したとみられ、一方、古代官道の山陽道は草上駅家からほぼ直線で桜峠を経て大市駅家に至るので近世の龍野道のルートに近い。

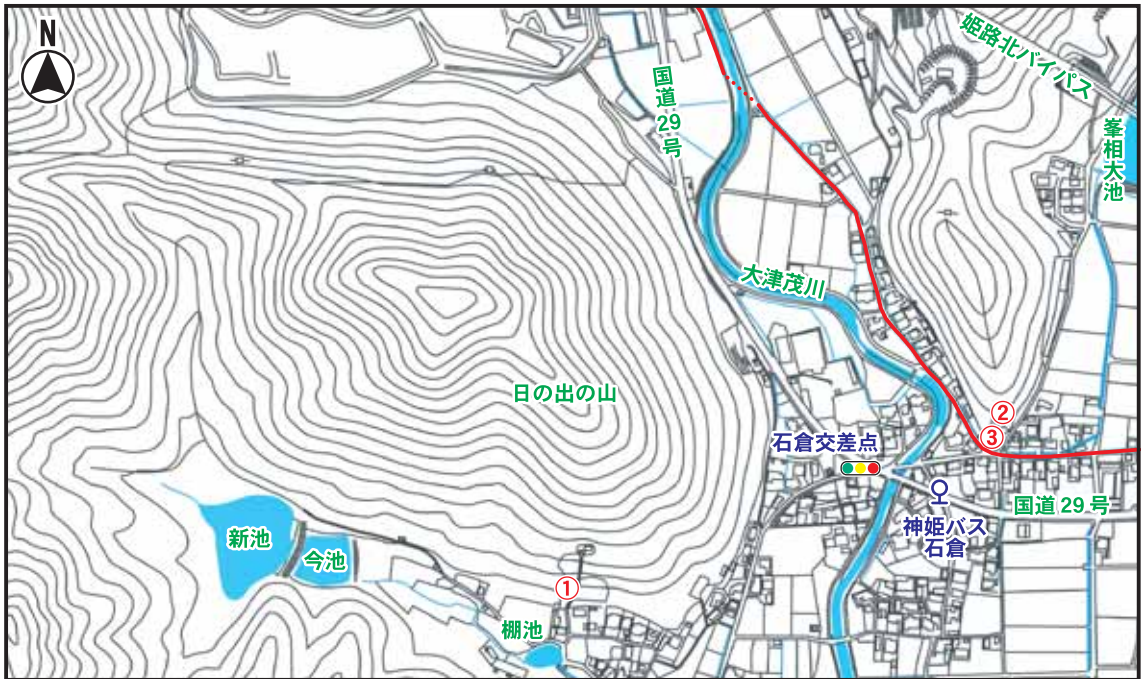


①伊勢茶屋

<図2>

ここで美作道は江戸時代、下手野で西国街道から分岐し(図8)、美作津山に向かう道を指すが、美作からさらに出雲に通じるので出雲街道とか雲州往来ともいい、また美作道の野部(たつの市神岡町野部)、船渡(たつの市新宮町船渡)、林崎(佐用町林崎)等から分岐して因幡に通じるので因幡街道とも呼ばれる。また下手野の分岐点は、龍野城下に至る龍野道の分岐点でもある。

美作道も時代によりルートの変遷や複数路の利用があり、江戸時代の初頭は西国街道を龍野町から北上し辻井村、田寺村に至りそれより西に向かい飾西村(飾西宿)に至る(慶長国絵図)。また幕末には西国街道を夢前川西岸の青山村で北上し飾西宿に至る道も利用された(市指定文化財「安政二年青山石造道標」。下手



①西脇の観音堂 ②稲荷神社(石倉の氏宮、当初集落より3.6km北の宮ヶ谷(峯相口の南)にあったといひ江戸時代遷座の計画はあったが大正12年(1923)陸軍演習でここオノ山が閑院宮御座所となったことを契機に翌年当地に遷座) ③石ノ鞍(石鞍、鞍の形をした自然石、名所として知られる(播州名所巡覧図絵))石ノ鞍の東側に大正13年(1924)峯相山寺址登山口指道標



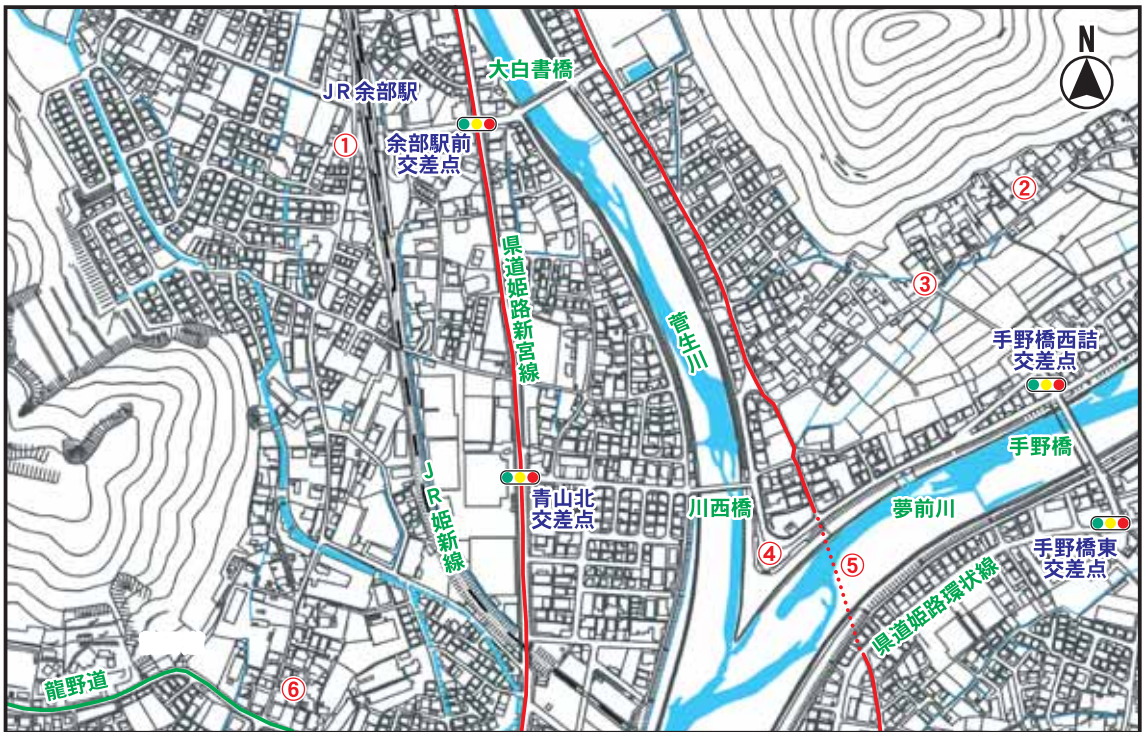
①荒神社・地藏立像 ②一里塚跡推定地・飾西郡揖東郡境推定地 ③相野歯痛地藏



①文化5年(1808)地藏坐像(通称北向地藏) ②立正寺(法華宗) ③教福寺(真宗大谷派、永正年間(1504-21)に明栄が蓮如上人の弟子となり天台宗より改宗、天文3年(1534)飾西村の西より現在地に移転という



①教福寺 ②小祠 ③飾西宿本陣跡(寛永年間(1624-44)に宿駅成立といひ飾西村庄屋中山助太夫家が本陣並びに一里継番所を務めたといふ) ④飾西宿高札場跡 ⑤笠寺(もと飾西の西の山中にあったといひ、平安初期の播磨大掾巨智延昌建立といふ、境内に笠寺薬師如来由緒之碑) ⑥稻荷神社 ⑦道標(右 ひめぢ道 右 書写山道 是よりよしや道) ⑧飾西村道路元標 ⑨嘉永3年(1850)常夜燈一对(飾西宿本陣中山氏と氏子中奉納) ⑩大年神社(飾西村の氏宮、旧村社格、文化10年(1813)石鳥居等) ⑪顯正院妙見堂(文政年間(1818-30)に本陣中山助太夫が創建したといふ、境内に寛政6年(1794)題目塔) ⑫石造不動明王 ⑬菅生川渡し場推定地



①矢落の森碑 ②武大神社(川西新村(大正6年川西)の氏宮、旧村社格) ③明治8年(1875)水利疎通紀徳碑(田井村から川西新村に灌漑用水開通) ④夢前川改修記念碑(1960年~1982年改修) ⑤美作道夢前川渡し場推定地 ⑥法灯寺跡(遠山の地藏さん)



慶応4年(1868)美作道・西国街道中絵図(個人蔵)
 初春の頃、下手野村の分岐点の様子、分岐点に立つ道標(右雲作因州海道中たつの道左西国街道)は亡失し、現在図8の②美作道・龍野道分岐推定地から移設された明和4年(1767)道標(正面 円光大師二十五霊場右一番みまさか誕生寺道左 明和四年丁亥十月左たつの道)が立つ。図中「しきさいヨリ半道 南ノてふの宿」とあるが下手野村の街道筋は茶屋が建ち並び立場(休憩所)の機能を果たしていた。
 図中、西に向かう行列は幕府陸軍の行列とみられるが正月早々に鳥羽伏見の戦いの戦端が開かれている。手前の下手野村は姫路藩領、行列が向かう西の対岸青山村は幕府領。

①明和4年(1767)道標 ②①の道標の移設前推定地 ③清淳地藏堂 ④一里塚跡推定地 ⑤文政10年(1827)金比羅山常夜燈(枯椽屋建立、この付近が渡し場跡) ⑥西国街道夢前川渡し場推定地(徒歩渡し、仮橋が設置されることもあった) ⑦安政2年(1855)青山石造道標(市指定重要文化財、花崗岩製五角柱、施主は伯香倉吉西町小松専太郎・下手野村大野文助・姫路大國(黒)町高井利平、銘文は『姫路の文化財 石造遺品銘文集』P,448参照) ⑧教専寺(真宗大谷派、享保年間本堂建立記念植樹の松は往來の人々が振り返って見たことから「見返りの松」と呼ばれた) ⑨龍野道夢前川渡し場推定地 ⑩来法寺(真宗大谷派、元和3年(1617)創建という) ⑪地藏堂